

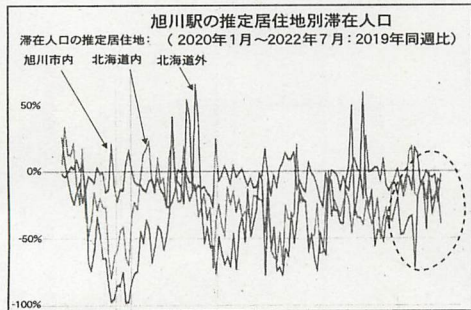
# 日銀事務所長の あさひかわ経済 あれこれ No.28

先々週、日銀の支店長会議が東京でありました。事務所長は、支店長と違って地域の経済情勢について報告することはないので、コロナ前は3カ月ごとに東京に出張して会議を傍聴し、その後、対面で打ち合わせをしていました。私自身は、旭川で勤務して2年4カ月になりますが、今回初めて東京への出張が許され支店長会議を傍聴した後、対面で打ち合わせ

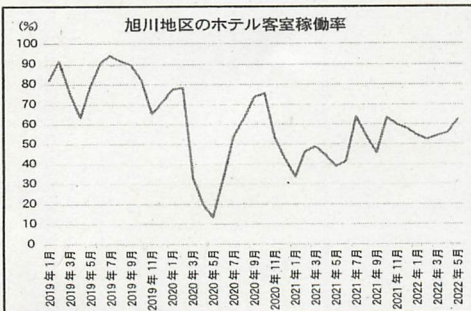
## ウィズ・コロナの経済動向を 占う今夏の取り組み

をしてきました。オンラインの打ち合わせですと、予定した議題だけになって時間が来たらそこで終了となりますが、対面の場合は前後の空き時間を使ってちょっと話をしたり、議題にないことでもその場で意見交換ができたりにして有意義です。今回、そうした機会に恵まれたので、改めて実際に人と会って話をしたり、打ち合わせをするこの価値を実感しました。

旭川駅は、週によつて振れはあるものの、ほぼコロナ前の2019年の水準に戻っています。また、旭川市内のホテルの客室稼働率をみると、旭川駅の滞在人口のうち推定居住地が「旭川市内」と「北海道外」



(注)時間帯は全ての時間帯。(出所)内閣官房・内閣府 V-RESAS



(出所)日本銀行旭川事務所

旭川地区のホテル客室稼働率をみると、旭川駅の滞在人口のうち推定居住地が「旭川市内」と「北海道外」の滞在人口は、週によつて振れはあるものの、ほぼコロナ前の2019年の水準に戻っています。また、旭川市内のホテルの客室稼働率をみると、旭川駅の滞在人口のうち推定居住地が「旭川市内」と「北海道外」の滞在人口は、週によつて振れはあるものの、ほぼコロナ前の2019年の水準に戻っています。また、旭川市内のホテルの客室稼働率をみると、旭川駅の滞在人口のうち推定居住地が「旭川市内」と「北海道外」の滞在人口は、週によつて振れはあるものの、ほぼコロナ前の2019年の水準に戻っています。



【大賀健司(おおがけんじ)】一九六五年神奈川県生まれ。青山学院大学法学部卒業。業務企画役、青森支店次長、政策委員会企画役、静岡支店次長を経て二〇二〇年に旭川事務所長に就任。

旭川地区のホテル客室稼働率をみると、旭川駅の滞在人口のうち推定居住地が「旭川市内」と「北海道外」の滞在人口は、週によつて振れはあるものの、ほぼコロナ前の2019年の水準に戻っています。また、旭川市内のホテルの客室稼働率をみると、旭川駅の滞在人口のうち推定居住地が「旭川市内」と「北海道外」の滞在人口は、週によつて振れはあるものの、ほぼコロナ前の2019年の水準に戻っています。

旭川地区のホテル客室稼働率をみると、旭川駅の滞在人口のうち推定居住地が「旭川市内」と「北海道外」の滞在人口は、週によつて振れはあるものの、ほぼコロナ前の2019年の水準に戻っています。また、旭川市内のホテルの客室稼働率をみると、旭川駅の滞在人口のうち推定居住地が「旭川市内」と「北海道外」の滞在人口は、週によつて振れはあるものの、ほぼコロナ前の2019年の水準に戻っています。

旭川地区のホテル客室稼働率をみると、旭川駅の滞在人口のうち推定居住地が「旭川市内」と「北海道外」の滞在人口は、週によつて振れはあるものの、ほぼコロナ前の2019年の水準に戻っています。また、旭川市内のホテルの客室稼働率をみると、旭川駅の滞在人口のうち推定居住地が「旭川市内」と「北海道外」の滞在人口は、週によつて振れはあるものの、ほぼコロナ前の2019年の水準に戻っています。